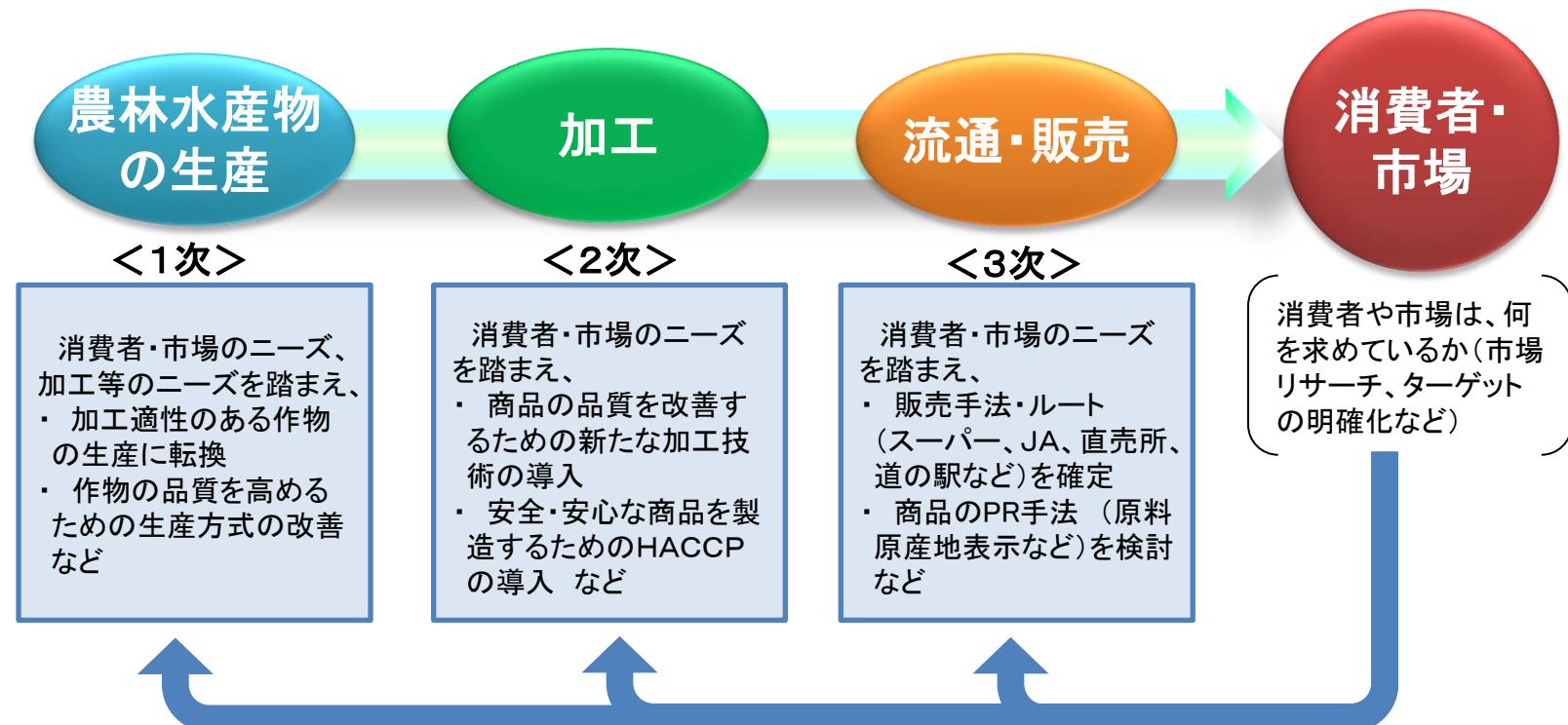


顧客ニーズを踏まえたバリューチェーンの構築

- 6次産業化に取り組む際には、生産、加工から流通・販売に至るまでのバリューチェーンを構築し、消費者や市場のニーズを踏まえつつ、流通・加工業者等のアイデア・ノウハウも活かしながら、農林水産物の生産をはじめ、加工、流通・販売のそれぞれの段階において、付加価値を高める工夫をすることが重要。



コンセプト表を作成し、製造から販売までのプランを具体化することが重要です

○トマトゼリー（自ら生産する農林水産物等：トマト（高糖度））

コンセプト	マーケットインの発想に立って、トマトの糖度を活かした砂糖不使用の商品を開発・製造・販売する						
	いつまでに	どこで（どのようなシーンで）	誰が	誰に対して	何を（どんなことを）	どのように（どうするのか）	備考
ターゲット		主に病院		病院内で食事制限をしている方を対象	砂糖を使わずに製造した商品	病院の給食用として販売する	
マーケット調査	〇年〇月までに試作品を完成させる	主に病院	調査会社に依頼	病院の管理栄養士	味や食感を5段階に分けた試作品	試食会を開催して、どの試作品が病院で提供しやすいかを評価してもらう 今後、病院給食以外への販路拡大のために、〇〇直売所で試験販売を行い消費者にアンケートを行う	
商品開発	〇年〇月から〇年〇月までに	自社	自社の商品開発部門		試食会で実需者が求めているゼリー	試作品の評価を参考に、製造コストと販売価格を計算しながら開発する	製造原価計算書作成する
商品製造	〇年〇月から〇年〇月までに	市内	有限会社丸の内食品		開発した商品	自社加工場の整備が完了するまで製造を委託する	原料の一部は近隣のトマト（高糖度）農家から集める
	〇年〇月から〇年〇月までに	自社	自社の製造部門	有限会社丸の内食品にアドバイスを依頼。	開発した商品	〇年〇月までに加工場の製造ラインを増やして自社生産を行う。	6次産業化交付金を活用予定
販売先の確保	〇年〇月から〇年〇月までに	主に病院	自社の営業部門	試食会を開催した病院を中心に地域の病院を中心に	開発した商品	職員にサンプルの試食をしてもらうとともに、機能性をPRして理解してもらうことで、病院食としての有効性の周知に努める	
	〇年〇月から〇年〇月までに	自社	自社の営業部門	全国の食事制限をしている方を対象	開発した商品	ホームページを開設して、インターネット販売に取り組む	
	〇年〇月から〇年〇月までに	県域の商談会に交付金を活用して出展する	自社の営業部門	健康食品を扱うバイヤー	開発した商品	健康食品をテーマにした商談会に出展するFCPシートを活用して、当社や商品の強みをアピールする	交付金の申請を県と相談中
その他	〇年〇月から〇年〇月までに		自社の営業部門	ヘルスケア雑誌の読者	商品のPRポイントを宣伝する	年〇回広告を掲載して、健康意識が高いと思われる読者に商品を宣伝していく	

食料産業・6次産業化交付金による支援



- 6次産業化の市場規模拡大に向けて、農林漁業者と多様な事業者が連携して行う地域資源を活用した新商品開発や販路開拓等の取組、加工・販売施設等の整備及び新たな高付加価値商品等の創出・事業化に必要な技術実証、マーケティング等を支援します。

＜事業の内容＞

1. 食料産業・6次産業化推進交付金

① 6次産業化の推進

ア 業務用需要に対応したBtoB（事業者向けビジネス）の取組の推進、「農泊」と連携した観光消費の促進、農福連携の発展に資する新商品開発や販路開拓等の取組を重点的に支援します。

イ 都道府県及び市町村段階に、行政、農林漁業、商工、金融等の関係機関で構成される6次産業化・地産地消推進協議会を設置し、6次産業化等に関する戦略の策定（更新）や6次産業化に取り組む人材を育成する取組を支援します。

② 研究開発・成果利用の促進

○ 新技術を活用した新たな高付加価値商品等の創出・事業化に必要な技術実証、マーケティング等を支援します。

2. 食料産業・6次産業化整備交付金のうち「6次産業化施設整備」

○ 農林漁業者等が多様な事業者とネットワークを構築し、制度資金等の融資又は出資を活用して6次産業化に取り組む場合に必要となる、加工・販売施設等の整備に対して支援します（業務用需要に対応したBtoBの取組の推進、「農泊」と連携した観光消費の促進、農福連携の発展に資するものを重点的に支援）。

＜事業の流れ＞



＜事業イメージ＞

○ 「6次産業化の推進」「6次産業化施設整備」の重点支援分野

業務用需要に対応したBtoBの取組の推進



高い品質管理下での業務用一次加工品等の製造・供給

「農泊」と連携した観光消費の促進



加工・販売の事業と一緒に行う加工・収穫体験等の提供

農福連携の発展



障害者との協働による商品化

○ 6次産業化等に関する戦略の策定



- ・6次産業化等に関する戦略の策定（更新）
- ・戦略に関する交流会の開催

○ 6次産業化に取り組む人材の育成



- ・経営感覚を持って6次産業化に取り組む人材の育成のための研修会の開催等

○ 研究開発・成果利用の促進

研究開発成果

- ・機能性成分の抽出技術
- ・長期保存・高鮮度輸送技術
- ・未利用資源の商品化技術
- ・機能性成分や加工適性に富む新品种の育成等

研究開発成果の利用

- ・技術実証、試作品の製造・評価、製品化及び試験販売等

農林漁業者

民間事業者

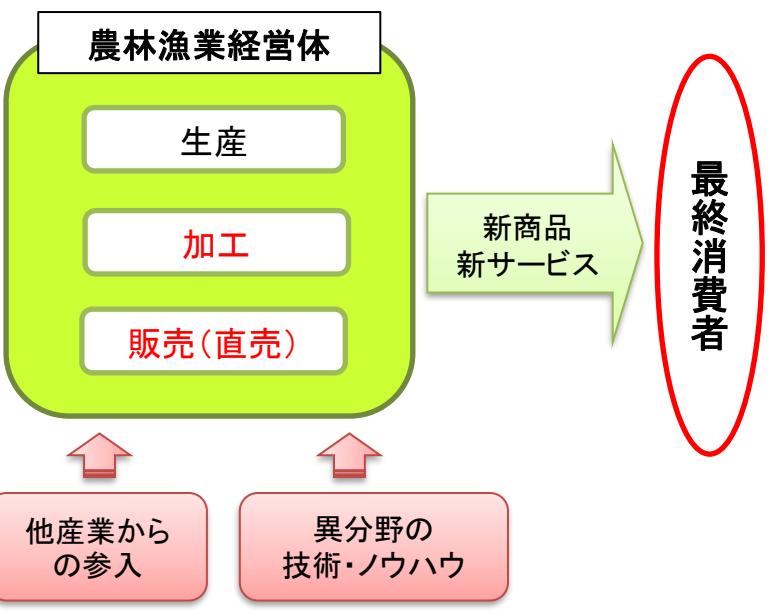
地方自治体

公設試験場

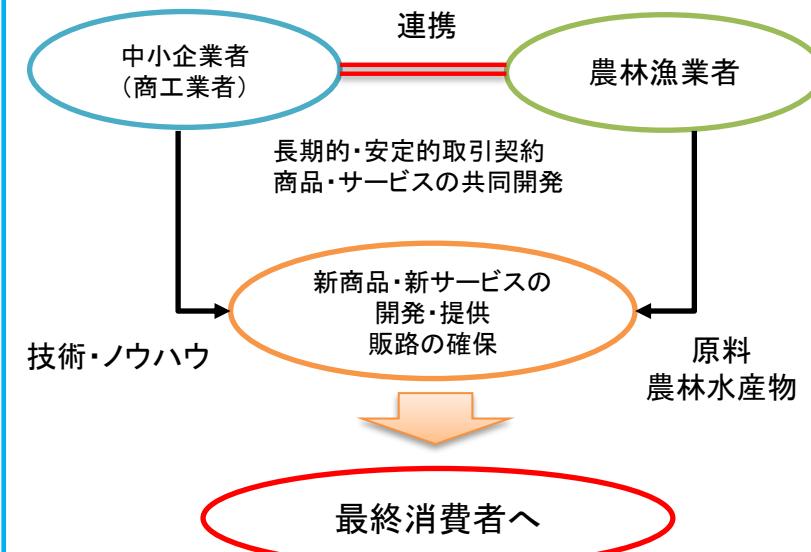
6次産業化と農商工連携

- 6次産業化は、農林水産物の付加価値向上を目指した、農林漁業者による生産と加工・販売の一体化等に向けた取組。
- 農商工連携は、農林漁業者と中小企業者が新商品や新サービスの開発・販路拡大等のため連携する取組。

農林漁業の6次産業化のイメージ
(1次・2次・3次部門の一体化)



農商工連携のイメージ
(地域の農林水産物と新技術・ノウハウの融合)



総合化事業計画の認定状況（令和3年5月31日現在）

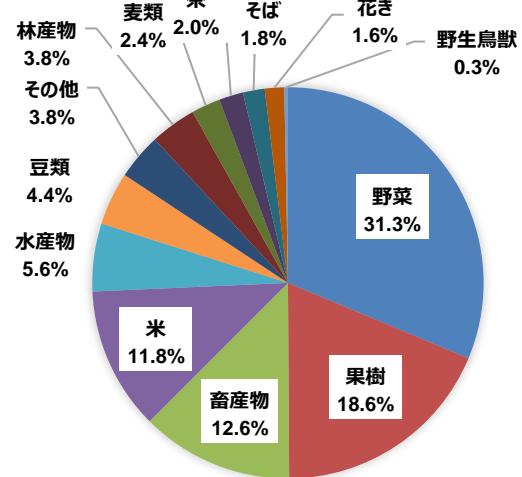


- 平成23年5月の第1回認定以降、総合化事業計画の認定件数は累増し、令和3年7月30日現在で約2,600件。

（1）地域別の認定件数

地域	総合化事業計画	うち農畜産物関係	うち林産物関係	うち水産物関係
北海道	163	154	3	6
東北	379	343	12	24
関東	447	407	18	22
北陸	127	121	2	4
東海	243	208	14	21
近畿	389	353	13	23
中国四国	323	268	13	42
九州	465	391	28	46
沖縄	60	54	1	5
合計	2,596	2,299	104	193

（2）総合化事業計画の対象農林水産物の割合



※複数の農林水産物を対象としている総合化事業計画については全てをカウント。

地域	総合化事業計画	うち農畜産物関係	うち林産物関係	うち水産物関係
岐阜県	80	71	4	5
愛知県	82	76	3	3
三重県	81	61	7	13
合計	243	208	14	21

（3）総合化事業計画の認定件数の多い都道府県（件数）

北海道	163
兵庫県	118
宮崎県	113
長野県	100
熊本県	92